

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ③アジア拠点化・国際物流分野(1/4)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
さがみロボット産業特区 (神奈川県)	正	4.6	4.3  進捗度 ・特区発ロボットの商品化状況 175%  ・実証実験等の実施件数 190%  ・ロボット関連事業所の集積割合 67%	4.3  規制の特例等 ・医療機器製造販売承認等の手続の円滑化 等  財政支援等 ・生活支援ロボットの实証実験等の実施 等  地域独自の取組 ・「インベスト神奈川」等による企業誘致の促進 等	4.8	<p>・評価指標(1)(特区発ロボットの商品化状況)及び(2)(実証実験等の実施件数)について、数値目標を上回る進捗を達成できている点は高く評価できる。</p> <p>・評価指標(3)(ロボット関連事業所の集積割合)について、数値目標達成に結び付いていない点は、ロボット産業が「さがみ」に根付くかどうかという点で懸念が残る。</p> <p>・評価指標(3)の数値目標を達成するためには、これまで実施している取組に加え、製造業が立地しやすい環境をどう整えていくのか、あるいは周辺のロボット産業の集積地に比べた優位性をどう強化するかについても、具体的に考えた方がよいのではないかと。</p> <p>・代替指標(3)(県の企業誘致施策におけるロボット関連企業の事業所建設計画認定件数)で測ると評価指標(3)は目標未達成となるが、例えば、医療関係に特化したロボット関連企業数やファブレス企業数等、特区での企業の進出の実態に即した評価指標があれば、もう少しポジティブな評価ができるのではないかと。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。